

# チーム5年生！！

# スクラム



羽太小学校  
第5学年通信  
発行9月24日  
No.28  
文責 水戸 亜弥

9月18日(金)に、総合学習の一環として三春町にある環境創造センター「コミュタン福島」に見学へ行きました。コミュタン福島は、放射線や福島環境について学ぶ施設です。

放射線については実験などを通して学習しました。放射線は日常的にも飛散していることに子供たちは少し驚いていましたが、様々な説明を聞き、多くの放射線を浴びなければ問題ないことを知りました。そして「霧箱」という放射線を目で見えるようにする装置の見学や、放射線を測る器具を使った実験を通して、放射線が空気中に飛散していることを実感しました。

また、福島県では「原子力発電に依存しない社会」を目指して再生可能エネルギーの開発に力を入れていることも学習しました。再生可能エネルギーとは太陽光・風力・水力などの自然の力を利用してエネルギーを生み出すものです。福島県では現在、電気の約30%を再生可能エネルギーで賅っているそうです。これは全国で長野県に次いで2位だそうです。しかし世界規模でみると30%という数字は決して高くなく、北欧などでは80%を再生可能エネルギーで賅っている国もあるそうです。福島県では2040年までに再生可能エネルギー100%を目指して、メガソーラーや風力発電などの開発が進められているそうです。他にも世界で起きている環境問題について学習し、地球環境を守るために自分たちでできることを少しずつ取り組もうという気持ちを高めました。特にごみ問題についての取り組みについて「3R」は聞いたことがある人も多いかと思いますが、新しく「5R」という言葉を知りました。福島県では「Refuse リフューズ・余計なものをもらわない」と「Repair リペア・壊れた物は直して使う」を加えて取り組みを推奨しているそうです。

